

令和2年度安全週間によせて

木更津労働基準監督署長 渡邊 秀明

本年4月に署長として木更津労働基準監督署に赴任しました渡邊です。

会員の皆様には平素より労働災害の防止につきまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、房総地区においては、昨秋2回に亘る台風及び豪雨により甚大なる被害が発生しました。その復旧途上での、コロナウイルスによる緊急事態宣言、これに伴う外出自粛要請等の感染症防止対策への対応と、経営環境に重大な影響がもたらされていることと存じます。衷心よりお見舞い申し上げます。

係る状況の中ではありますが、6月1日から安全週間の準備期間を迎え、7月1日から7日までの安全週間を迎えることとなります。令和2年度安全週間は、「エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減」をスローガンとして取り組めます。

安全週間の取り組みが困難な事業場もあるやもしれませんが、このような状況であるからこそ、万が一にも重大災害が発生させることはできません。

千葉県内における直近の問題点を3点ほど挙げさせていただき、それに対するヒントを紹介することで、私の挨拶とさせていただきます。

1点目として、

減少傾向に陰りが認められる死亡災害の問題が挙げられます。

千葉県内における死亡災害の発生件数は、長期的には減少しておりますが、過去5年間におきましては増減を繰り返し、着実に減少しているとは言い難い状況となっております。

また、令和2年に入って以降、死亡災害が急増しており、4月末現在で13名（速報値。前年同期比5名増）の方の尊い生命が失われるに至っており、このうち6名が当署管内の労働者となっております。

さらに、4月末現在、千葉県は死亡者数ワースト1位となっており、極めて深刻な状況となっております。

対策といたしまして、今一度死亡災害に繋がるリスクを洗い出し、リスクアセスメントを実施し、関係労働者に対する周知・徹底を行っていただくようお願いいたします。

特に建設業においては、屋根の補修作業における墜落・転落災害、解体作業における崩壊災害、また、重機・移動式クレーンを用いる作業における災害が多発しておりますので、万全の対策をお願いいたします。

2点目として、

熱中症予防対策が挙げられます。

昨年熱中症による全国の死亡者数は26名でしたが、そのうち千葉県内は5名でワースト1位でした。

熱順化には1週間かかるといわれていますが、ステイホームで熱に対する順化がなされていないと熱中症のリスクが高まります。また、新型コロナウイルス対策としてのマスク着用が熱中症につながるとの指摘も報道等で耳にすることですので、こういった情報等も視界に入れつつ、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の実施事項につきまして、よろしく願いいたします。

熱中症の発生リスクは気温・湿度による影響が大ですが、労働者の体調による部分も見逃せません。その意味では、熱中症のリスクを完全に拭き去ることは極めて困難です。私見ではありますが、熱中症を重篤化させないためには、熱中症になった労働者への対処が最も重要だと考えます。多くの被災労働者は「大丈夫です。」と言いますが、熱中症は急変する怖れがあり、一人にするのは危険です。また、去年は、体調回復後、自宅に戻ってから意識を喪失し、亡くなられた方もおられました。念のために医師の診断を受けさせるとの判断も重要になりますので、検討してください。

3点目として、

増加傾向に転じた休業災害の問題が挙げられます。

令和元年の、労働災害により4日以上休業した労働者数は、千葉県全体で5,705名（対前年+170名）と4年連続の増加であり、直近の20年間で最悪の数値になっています。また、事故の型で分析すると、「転倒」（1,416名、24.8%）に続き、「動作の反動・無理な動作」（954名、16.7%）が2番目に多くなっています。「動作の反動・無理な動作」とは、不自然な体勢で作業を続けることにより発生する障害で、典型的には「腰痛」がこれに当たります。

転倒災害の防止について、厚生労働省では「STOP！転倒災害プロジェクト」を展開し、転倒災害防止のための取り組みをお願いしております。

また、転倒災害が増加している一因として、出生率の低下による高齢労働者の比率の増加が挙げられています。高齢労働者は脚の筋肉量の低下により躓くリスクが高くなり、骨密度の低下により骨折のリスクが高まるからです。何も問題のない場所で躓くのを防止するためには、スクワット等の脚の筋肉量を維持するための取り組み、高齢者になっても自分の足で歩けるような取り組みが必要なものと考えます。

以上、3点の問題を提起させていただきました。

会員の皆様が有意義な安全週間を過ごされ、労働災害が発生しないことを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。